

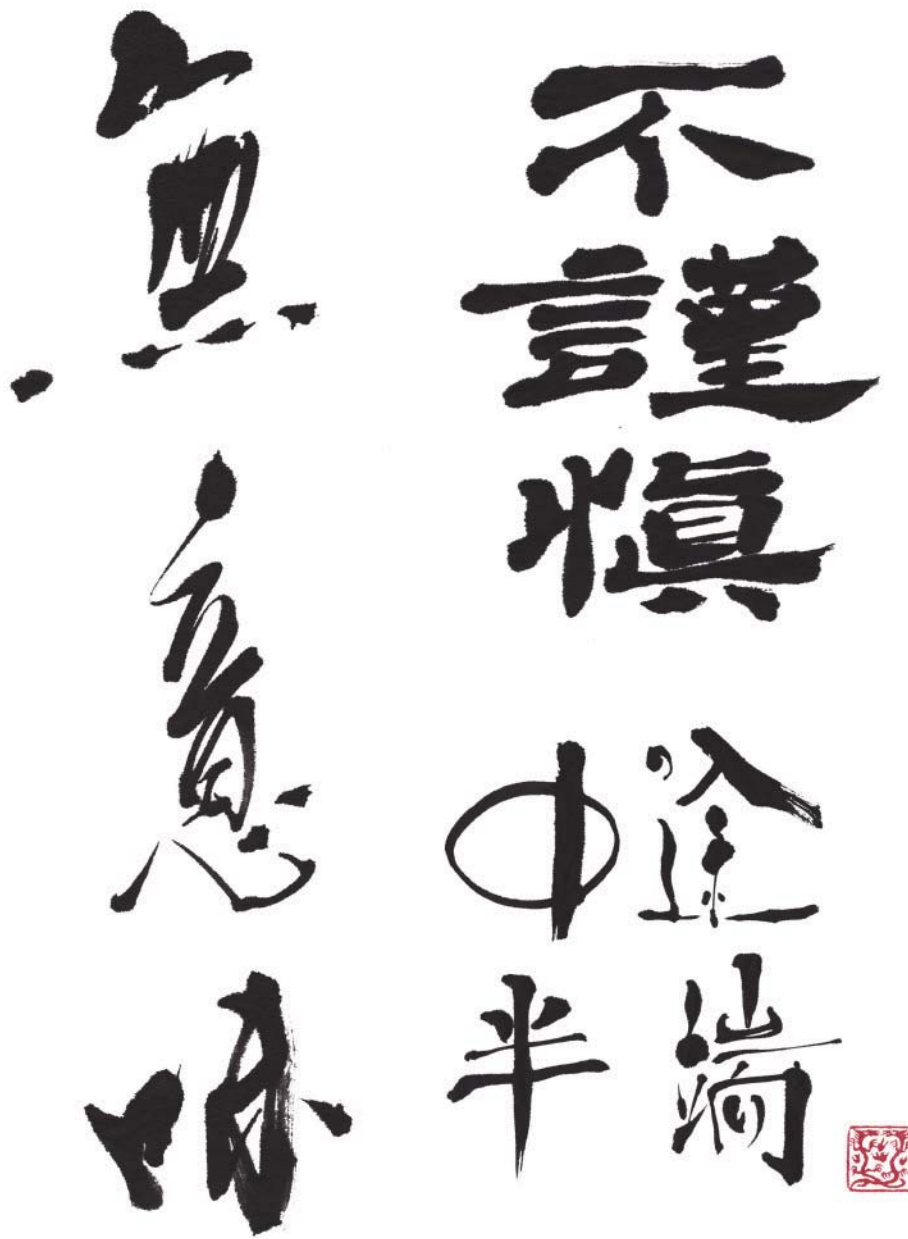


書道家
武田双龍



先月の「イカす人・綺麗な人」珠玉の言葉
松尾貴史

×



第四十二筆

不謹慎・無意味・中途半端

すべていいという意味です。不謹慎でいい、真面目である必要はない。たった一度の人生。意味を求めて何かのために生きる必要なんてありません。極めなきゃだめなんてことはあり得ない。中途半端でいい。極めている人なんてほんのひと握りにすぎない。それも周りがそう言っているだけで、ご本人が極めたと思っているわけではない。ある種のハードルを設けるから、達成できない、ということになります。考える必要はありません。

武田双龍

三種の感情を表現しました。

昭和五十九年熊本県生まれ。三歳より書を学び始め、母・武田双葉に師事。

書道家・武田双雲は実兄。書道教室 ふたばの街を開講。

テレビや新聞、雑誌など幅広いメディアで活動中。

<http://so-ryu.com/>